



チーフストラテジスト 瀧山裕二の Weekly Letter

第87回「IMF 世界経済見通し 2025年10月 改訂版」

10月15日にIMF（国際通貨基金）から「世界経済見通し 2025年10月改訂版」が公表されました。今週は、このIMFの「世界経済見通し」についてお伝えします。

～世界経済の成長率予測～

まず、発表された「世界経済見通し（2025年10月 改訂版）」の内容を確認しましょう。裏面表1をご覧ください。この表は今回の見通しを抜粋したものです。

前回7月に続き25年の成長率を上方修正した国・地域が多かったですが、26年についてはおおむね前回予測と同じでした。世界経済全体の成長率予測は、2025年は+3.2%成長、2026年は+3.1%成長となり、前回と比べて25年は+0.2%ポイント（Pt）上方修正され、26年の予測は変更されませんでした。今年2025年の成長率予測が上方修正されたのは、当初の関税率と比べ押しなべて低い関税率が締結されたこと、大半の国々が報復措置を控え自由貿易体制を維持したこと、企業部門が輸入前倒しやサプライチェーンの変更などを柔軟に行ったことなどが挙げられます。しかし、米国の高関税政策の悪影響は時間の経過とともに顕在化することが考えられるため来年2026年の経済予測は、前回と同じ3.1%成長に据え置かれました。

～主要国・地域の経済成長率予測～

では、主要国・地域の成長率予測を見てみましょう。まず、米国ですが、25年は+2.0%成長、26年は+2.1%成長と予測しています。前回の予測と比べて25年、26年ともに0.1%Pt上方修正されました。この修正の要因は、関税政策の悪影響は企業努力で軽減されており、AI関連の活発な投資が継続し関連産業に旺盛な需要が見られること、2026年には財政政策の拡大が想定されることなどが挙げられます。

次にユーロ圏（EU）ですが、25年は+1.2%成長、26年は+1.1%成長と予測しています。前回予測と比べて、25年は0.2%Ptの上方修正、26年は-0.1%Ptの下方修正となりました。今年はドイツの財政拡大が成長率の押し上げに寄与すると予測する一方、来年は成長率の押し上げ要因が弱まると予測しているようです。

日本については、25年が+1.1%成長、26年が+0.6%成長を予測しています。前回予測と比べ25年を0.4%Pt、26年を0.1%Pt上方修正しました。米国との関税交渉で低い関税率での合意がなされたことや賃金上昇による消費の拡大などを見込み予測を引き上げました。

次に、新興市場国・発展途上国の成長率予測ですが、25年+4.2%成長、26年+4.0%成長と前回予測と比べて25年は0.1%Ptの上方修正、26年は変わらずとなっています。中国については、25年、26年ともに前回見通しを変えていません。インドについては、25年は+6.6%成長と前回より0.2%上方修正する一方、26年は、+6.2%成長と前回より-0.2%Pt下方修正しました。

～世界経済を取り巻く 下振れリスクと上振れリスク～

今回の見通しの中でIMFは、世界経済に対する下振れリスクと上振れリスクを明示しています、まず下振れリスクですが、①AIの利益に対する期待が最終的に満たされないリスク、②不動産バブル崩壊の悪影響から立ち直れない中国経済に対するリスク、③多くの国々で起こっている財政赤字拡大リスク、④金融政策決定機関に対する圧力で金融政策に対する信頼性が低下するリスクの4点を挙げています。これらの下振れリスクについては注意深く見極める必要があると考えます。一方、上振れリスクとしては、①不確実性を高めている政策（関税政策など）が解消あるいは軽減されること、②AIが全産業の生産性を向上させる可能性があることの2点を挙げています。①「不確実性の解消・軽減」が実現すれば世界のGDPは短期間に0.4%増加すると想定しています。また、②「AIによる生産性向上」についても世界GDPを0.4%増加させると期待されます。現状は、不確実性の中で「窮屈な」経済活動が続いていますが、世界経済は工夫と勇気をもって進んでいくと信じます。引き続き世界機関からの経済予測に注目して参ります。

表1

世界経済見通し(WEO)による成長率予測 (%)			
地域・国名	2024年	2025年(予測)	2026年(予測)
世界	3.3	3.2(+0.2)	3.1(0.0)
先進国・地域	1.8	1.6(+0.1)	1.6(0.0)
米国	2.8	2.0(+0.1)	2.1(+0.1)
ユーロ圏	0.9	1.2(+0.2)	1.1(−0.1)
日本	0.1	1.1(+0.4)	0.6(+0.1)
新興市場国・発展途上国	4.3	4.2(+0.1)	4.0(0.0)
中国	5.0	4.8(0.0)	4.2(0.0)
インド	6.5	6.6(+0.2)	6.2(−0.2)
ブラジル	3.4	2.4(+0.1)	1.9(−0.2)

(注)インドについてはデータと予測が財政年度ベース(4月～翌年3月)で表示

※2025、2026年は予測値。

カッコ内は前回(2025年7月)からの改定幅 (%ポイント)

(国際通貨基金 2025年10月「世界経済見通し」改訂版より西村証券作成)